

津波避難3原則 ①想定にとられない②命を守るために最善を尽くす③周りが逃げなくても逃げる

活かそう！木の国 山の恵 ～山菜・きのこ・紀州備長炭～ 和歌山林業試験場 特用林産部 部長 坂口 和昭 氏

和歌山といえば「木のくに」。周囲に緑の山があって当たり前の環境の中で生活してきました。山の恵といっても多種多様で特用林産物（食用・薬・花木・建材・樹脂・精油・葉物・薪炭・その他）のお話では具体物を提示しながら聞きました。特に有名な紀州備長炭では驚くことがたくさんありました。生徒の感想の中に「ウバメガシが水に沈むことにびっくり。」「貴重な備長炭が出来上がるまでの職人さんの技術や努力に感動」「里山の大切さを実感」などありました。また、今年はイタドリ（ごんぱち）をよくいただきました。栄養たっぷりだそうで長寿でいいやら・・・です。これ以外にも楽しかったという感想がありました。



わが地区における先取り防災の取り組み

海南市塩津防災会 会長 東海 義弘 氏

真向かいにマリーナシティが見える塩津地区の防災への取り組みを伺いました。塩津地区は住宅が密集し道路は細い坂道や階段がほとんどという地形で、人口約480名内4割以上が65歳以上の地域です。防災に関しては、「自分たちでできることは全てやる」という合言葉で活動をしている。何よりも見事なことは、避難訓練の参加率が約80%ということです。どの地域であっても、役所中心の避難訓練だといいいとこ県知事選挙ぐらいの参加率くらいだと思います。また、高齢者の割合が高くなる中、避難の徹底を図るため自分たちで住民台帳を作っているという点（一人暮らしの方の場合親類に連絡が届くように）が特に素晴らしいと思いました。生徒の感想の中に行政に頼らず、区民で助け合う大切さを感じました。また、避難時の施設の運営や水・電気の確保など細かいことまで訓練に取り入れているところが素晴らしかった。自分たちの地区でも見習うことがたくさんありました。課題とされていた要配慮者支援体制や今後の人材育成は広川町も同じです。広川町でも見習っていきたいです。（生徒感想）



素晴らしい歌声

9月の耐久大学でコーラス専科の発表がありました。とても素敵な歌声に心が癒されました。また、エーデルワイスに始まり「紀州の歌」より紀州は海の町まで全6曲を熱唱しました。これだけしっかり歌いきれる皆さんの元気さにびっくり。そして、歌い終わった笑顔にうっとりでした。発表が終わった後もみんなで歌った後も、大きな拍手でした。素晴らしい歌声ありがとうございました。



台風19号により耐久大学休校

10月12日（土）に予定されていた耐久大学が台風19号の影響により休校となりました。また、広川町主催の「人権啓発・青少年育成推進大会」も中止になりました。女優紺野美沙子さんの講演会を楽しみにされていた方々にとっては少し残念だったようです。

全国的に見れば台風に伴う豪雨のため中部・関東・東北と河川の氾濫により大変大きな被害を受けました。幸いにも広川町では、風雨共に激しい時間帯はありましたが、昨年のような大きな被害を受けずに済みました。被害を受けられた方々には、普段の生活に戻るまで大変なご苦労をされると思いますが、頑張ってくださいと思います。

耐久大学専科活動より

耐久大学で毎月取り組んでいる専科活動の中から、書道・切り絵・絵手紙・川柳の4専科から作品を展示します。一人ひとりが毎月の耐久大学専科の時間を中心に取り組んだ作品です。作品展示のため専科ごとに集まり準備を進めています。

是非ふるさと祭りのおりは、体育館のほうへ足をお運びいただき、ご覧いただきたく思っています。



青雲書道教室の西出先生がふるさと祭りに出品の後、耐久大学に寄付していただきます。

耐久大学に体験入学してみませんか？

みんなで楽しく活動したりしましょう！

お問い合わせ 広川町民会館 TEL 63-2295

火曜日～土曜日（祝日除く）8:30～12:00 13:00～17:00